

## ユニセフ・カード&ギフト 秋・冬号 2014 …最新のカatalogをお届けします…お申し込みください！！

ユニセフ製品は定価の約50%がユニセフの活動資金として、世界の子どもたちのために役立てられます。製品ひとつひとつが、ご購入いただくごとに子どもたちへの支援につながります。お友だちやお世話になっている方へのごあいさつ、ご贈答品にふさわしいカードやギフト製品を取り揃えました。皆さまと大切な方の絆が深まりますように。なお、ユニセフ自身によるカードとギフトの製作・頒布は本年12月末をもって終了することになりました。2015年からは、ユニセフが承認した企業～日本においては、(株)日本ホールマークが来年秋からユニセフのロゴマークのついたカード類の製造・販売を行いその売上の一部を子どもたちのための活動資金としてユニセフに寄付していただく方式に移行します。お求め方法については改めてお知らせいたします。「手から手へ、子どもの幸せを願う思いを乗せて支援の輪を広げる」というユニセフ・カード&ギフトの使命は変わりません。引き続きご愛顧・ご協力をお願い申し上げます。



### 第5回しばたまち平和の祭典に参加しました

9月27日、槻木生涯学習センターでのイベントで、写真パネル展示とカード&ギフトの頒布活動を行いました。今年の平和の祭典は、「火垂るの墓」映画上映でした。映画は第二次世界大戦のころ。あの戦争が終わってから、ユニセフが生まれました。戦争で被災した子どもたちを救援することで活動したユニセフは、現在では「子どもの権利条約」を指針に、人権擁護機関として活動しています。この日は、3年以上続いている「シリア危機」の写真パネルも展示しました。カード類の頒布額は3万円余のご利用がありました。



### 香川県ユニセフ協会のワークショップに参加しました ～世界がもし100人の村だったら～

9月13日、県協会の千葉理事と事務局の小野寺さんが参加しました。『100人の世界では61人がアジア、16人がアフリカ、8人が中央・南アメリカとヨーロッパ、5人が北アメリカ、2人がロシアでオセアニアは1人にもなりません。』世界の平均寿命や5歳になる前に命を失う子どもの状況、安全な水を手に入れられる人の割合などを学びます。口の広いワイングラスの形で示された図表は富の偏在。世界の人口の20%の人で82.7%の富を占める。“みんな同じ地球に生きている”考えさせられた1日でした。



### 少し先のお知らせです・・12月6日(土)「シリアからの叫び、分裂するイラク」

テレビの「報道ステーション」や「ニュース23」などでシリアの状況を伝えている国際ジャーナリスト・後藤健二さんの現地取材を通しての報告会を開催します。2011年から続いているシリア紛争。収束する気配のない中、子どもたちに迫る危機は深刻化しています。隣国イラクの現状もお伝えします。私たちは何ができるのでしょうか？ 入場は無料、事前にお申し込みください。会場はみやぎ生協ウイズ2F会議室。 ©日本ユニセフ協会



宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2 みやぎ生協ウイズ1F

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef\_miyagi@todock.jp

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

事務所: 月曜日～金曜日

10:00～17:00

上記以外 080-5849-6072(五十嵐栄子)